

公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和5年12月19日

施設名	高知青少年の家	所管課	教育委員会生涯学習課
-----	---------	-----	------------

1 施設の概要

指定管理者名	(特非)高知県青年会館	指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日
施設所在地	吾川郡いの町天王北1-14		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用の許可に関すること ・施設及び設備の維持管理に関すること ・青少年の活動が安全かつ円滑に行われるための支援に関すること ・主催事業を計画し、実施すること <p><令和4年度主催事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハープ寄せ植え教室 ・親子陶芸教室 ・エンパシーライティングfor kids ・夏休み学習支援教室 ・タブレットで音楽を作ろう「ワークバンド教室」 ・紙すき&こんにやくづくり教室 ・折り紙飛行機教室 ・ドローン体験教室 ・親子キャンドル教室 ・高校連携事業プログラミング教室【中止】 ・親子そば打ち体験教室 ・メモリアルアート教室 ・放課後児童クラブin 青少年の家 		
施設内容	研修及び会議を計画する各種機関・団体・学校・グループ・サークル・企業等に施設を提供している。 利用開始日: 昭和63年6月1日 延床面積: 1,230.39㎡ 建築物: 鉄筋コンクリート2階建 施設概要: 大集会室200名×1 研修室45名×3 会議室20名×1 和室20名×1 和室15名×1 視聴覚室50名×1 談話室(ホール)		
職員体制	職員: 所長1名 事務長1名 指導員3名 <u>合計: 5名</u> ※所長・事務長は青少年体育館と兼務		

2 収支の状況

(単位: 円)

		R03年度(決算)	R04年度(決算)	R05年度(予算)
収入	県支出金	21,323,000	21,135,000	21,985,000
	事業費収入	58,000	95,000	108,000
	収入計	21,381,000	21,230,000	22,093,000
支出	事業費	388,639	609,591	600,000
	管理運営費	7,714,617	7,727,164	8,327,000
	人件費	11,100,575	10,702,069	11,158,000
	消費税	2,177,169	2,125,563	2,008,000
	支出計	21,381,000	21,164,387	22,093,000
使用料収入		698,530	798,820	749,000

3 利用実績

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平均
利用者数	22,040	20,604	10,800	14,391	17,493	17,066
利用団体数	1,093	1,020	834	1,046	1,132	1,025

4 業務の評価

項目	施設からの状況説明に対する評価・意見
①利用拡大のための取り組み	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プログラムの充実をはかり、新型コロナウイルス感染対策にも配慮し学校・地域との連携もとれた。 ・募集人数を絞っての実施事業もある。 <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数と利用団体数の相関関係について、過去5年間の利用者数の減少に対して利用団体数は増えている。管理者からは1団体あたりの人数が減っている傾向がある、との報告があったが、そもそも利用しづらい・まだ開拓できる利用期待層に手を伸ばせていない、など利用向上を図る要素が埋没していないか、チェックすること。 ・学校との連携については、①施設側から学校への提案による連携、②今年度から新たに始まった連携、について記載すること。
②利用者へのサービス向上のための改善策	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者のアンケートの分析や振り返りシートの分析を通してニーズを把握し、各種施策に生かしている。 ・七夕・クリスマス・ひな祭りなど四季折々の装飾や、花壇に季節の花々を育てた。 <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣校や自主防災組織との連携を進めてほしい。 ・より簡便で利用しやすい施設予約サービスの構築が望まれる。
③施設の運営について	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市型施設のメリットを生かした取組の推進を図っている。 ・玄関入口に検温器と消毒液を設置し、手指の消毒、マスクの着用、換気と3密回避対策等、新型コロナウイルス感染防止に取り組んだ。 ・照明をこまめに切る、できる限りコピー用紙の裏を使う、職員で敷地内の植栽や草刈りを行うなど、経費節減に取り組んだ。 ・職員が少ない中、高知青少年の家と青少年体育館とが相互に協力して主催事業等に取り組んだ。 <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時の避難など対応についての訓練をした結果、浮かび上がった課題についてきちんと洗い出しをし、対策を講じること。2024年2月の地元住民の避難受け入れ訓練については来年度の報告書に記載すること。 ・地域の資源や施設の特徴を生かした施設運営がなされているが、施設の資源をさらに開発できる可能性があると考えられ、さらに一歩踏み込んだ革新的な施設運営が期待される。

④利用実績	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者は増加し、前年度の利用者数を上回った。 ・コロナの影響を受けながらも、利用者の増加が図られている。 <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主催事業の中でリピーターが増えた事業にはどんなものがあるか、またリピーターが増えた理由はどういうものか分析すること。 ・主催事業が天候不良等の理由により中止となった場合、延期日を前もって設定するなどなるべく年度内で事業が実施できる工夫・対策を講じること。
⑤収支の状況	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用実績が伸びていることに対して、予算内で費用を抑えている。
総合評価	<p style="text-align: center;">B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね目標値は達している。 ・新型コロナウイルス感染防止に取り組み、概ね適切に管理運営を行った。 ・不審者対応や熱中症対応などの訓練やマニュアルの作成が望まれる。 ・評価シートの記載内容が前年踏襲あるいは現状維持的に見えるため、施設の存在や利用価値について、県民に対して積極的な情報発信や魅力的な企画の立案と実践に努めること。例えば、平日の昼間と夜、週末の昼間と夜で利用者のターゲット設定をして、それぞれのターゲットのニーズに合わせた企画を立てて実践するなどの分析を行うことによって、もっと細かなニーズを取り上げて、それを利用者の利用機会の向上につなげるきっかけとするような企画にしてほしい。

【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
- B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
- C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
- D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの

※「施設からの状況説明に対する評価・意見」欄には、各施設の品質向上及び利用者拡大に向けて、①から⑤までの項目に沿って、努力成果が見える点や改善が必要だと感じる点、その他特記事項をご記入ください。

また、他の参考になるような業務改善の取組については、総合評価欄にご記入ください。